

外科 マンスリーレター 2020.2

今月のマンスリーレターを担当させていただきます、大津市民消化器外科の青山太郎と申します。金曜日の外来を担当しております。日々の診療におきまして、皆様には多大なお力添えをいただき、心より感謝申し上げます。

さて今回は、私からお伝えさせていただく新しいピックスもありませんので、個人的な話題に少しお付き合いいただければと思います。

先日、日本DMAT(Disaster Medical Assistance Team)の養成研修会に参加をしてきました。DMATは阪神淡路大震災以降に発足され、災害時に派遣され医療を提供する医療支援チームで、テレビなどの報道でも耳にする機会は増えているかと思えます。

当院の隊のメンバーとして要請時に活動できる資格を取得するための4日間の(やや過密なスケジュールの...)研修でした。阪神淡路大震災、東北大震災などの自然災害、福知山列車事故などの局所災害など、様々な災害の経験および失敗の積み重ねから、着実に進化し続けている日本の災害医療のノウハウとそれを中心的に担っている人達に接することができ、自分も一医療人として頑張らなければと改めて思った次第です。

市立大津市民病院は滋賀の災害拠点病院ですので、有事にはその役割をしっかりと果たせるよう、自己研鑽に努めてまいります。



市立大津市民病院 外科マンスリーレター 2020.2 (文責：青山)

ちょっと
豆知識...

市立大津市民病院は、DMATカーを導入しています。DMATカーは、大規模災害等にDMAT(災害時派遣医療チーム)の現場活動を支える災害時医療支援車です。

DMATカーには災害現場活動に必要な資器材を装備・搭載しており、DMATの機動力向上、長時間活動への対応力強化、通信手段の確保による迅速で的確な情報収集に役立ちます。

